

今後の大振幅地震動に対する耐震設計の方向性と課題 (既存構造物への対応や異分野の動向を踏まえて考える)

大振幅地震動に対する設計用地震動や設計法が提案され、実務設計でも活用されつつある。本シンポジウムでは、大振幅設計用地震動に関して、既存構造物への対応や、一般建築構造以外での対応動向を踏まえ、情報共有を行うとともに、研究や実務の現状の課題と今後の方向性について議論したい。

- ・主 催：(一社) 日本建築学会近畿支部 耐震構造研究部会
- ・共 催：(一社) 日本建築構造技術者協会 関西支部
- ・日 時：2022年3月15日(火) 10:30～17:00
- ・会 場：オンライン (Zoom)

プログラム：

[午前の部]

1. 京町家に対する地震荷重の現状の課題と新提案 林 康裕 (京都大学)

[午後の部]

2. 既存杭の再利用 柏 尚稔 (大阪大学)

3. 原子力発電所における大振幅地震動への対応 巽 誉樹 (関西電力)

4. 土木における大振幅地震動への対応 澤田純男 (京都大学)

----- 休憩 -----

5. 通天閣の免震改修 西崎隆氏 (竹中工務店)

6. 新宿住友ビルの制振改修 吉江慶祐 (日建設計)

7. パネルディスカッション

定 員：200名 (申込み先着順)

テキスト代：2000円

※ 参加者1名につき1冊、テキストを購入のうえ参加をお願いします。

※ 3/8までの申込者には、登録先住所へ郵送いたします。

3/9以降の申込者は、事務局にてお受取りいただくか着払いでの発送となりますのでご了承下さい。

申込方法：日本建築学会のホームページからお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=654233>

支払方法：クレジットカード決済

※ 領収書は日本建築学会のホームページにて発行します。

問合先：日本建築学会近畿支部 TEL:06-6443-0538, FAX:06-6443-3144

E-mail: aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp, HP: <http://kinki.aij.or.jp/>